

分類	委員名	御意見・御提案内容	回答
質疑	長原 邦子 委員	(質疑) 川の中への粗大ごみの不法投棄はどうしたら止められるか。	本市でも不法投棄防止看板を提供しておりますが、長原委員の御提案(本会議録5ページ記載)のように、地域独自の取り組みとわかるような看板は、より抑止力となるのではないかと考えます。 投棄されないための環境づくりも有効と考えており、すでに投棄されてしまったごみの処分や周辺環境の整備等、管理する方々と連携して取り組んでまいります。
	安藤 允巳 委員	(質疑) 不法投棄事案の捜査には防犯カメラ等による裏付けが必要になるが、市民の中には防犯カメラの設置などに否定的な意見もあるだろう。 警察以外の機関で防犯カメラの設置をどのように検討しているかの意見が聞きたい。	本市では、地域の御要望をいただき、現在8基の不法投棄防止カメラを市内に設置しております。 周辺住民から反対意見があるなどの問題が発生したことはございませんが、反対意見をいただいた際は、御要望をいただいた地域の方々との協議を行ってまいります。
不法投棄量や現状について	長原 邦子 委員	大津川をきれいにする会が発足以来17年間の川中への粗大ごみ不法投棄ベスト7 1位 タイヤ(187本) 2位 自転車(129台) 3位 波板(48枚) 4位 テレビ(36台) 5位 バイク(20台) 6位 ふとん(11枚) 7位 パソコン その他 冷蔵庫, 洗濯機, 電子レンジ, ソファ, 電気カーペット等 多数川の中に捨てられている。	情報提供ありがとうございます。 差し支えなければ、投棄場所情報をお教えくださいますようお願いいたします。 不法投棄対策を検討してまいります。

分類	委員名	御意見・御提案内容	回答
不法投棄量や現状について	桑原 末子 委員	<p>時代が変わってもぼい捨てや不法投棄の問題は普遍的である。特に家電を捨てる際の費用と手間を惜しんでの投棄は考えられる。これを無くす方法が無いか意見を出し合いたいと思う。</p> <p>家の近くのごみを拾う活動や、月に1度「松葉町をきれいにする会」で広範囲にごみを集める活動をしている。家の周辺については、以前よりごみが少なくなったと感じている。しかしながら、市のぼい捨て防止看板の横にぼい捨てごみが置かれているなど、残念なこともある。</p>	<p>地域の美化活動をしていただいているボランティアの皆様のおかげで、ぼい捨てごみの減少がみられます。</p> <p>また、データ上公道での投棄が最も多いのも、こういったボランティアの皆様や地域の方々の活動により、発見につながっているとも考えられます。</p> <p>ぼい捨てごみや不法投棄ごみについて迅速に処分ができるよう、土地の所有者や管理者、ボランティアの皆様と連携してまいります。</p> <p>また、公道における不法投棄の原因は改めて分析し、道路部局とも協議しながら、引き続き対策を検討して投棄されにくい環境づくりに努めてまいります。</p>
	中野 一字 委員	<p>令和2年度の事業報告を確認した。コロナ禍における特徴も散見されるが、やはり公道における投棄の問題が絶大であると思う。</p> <p>改めて分析し協議し、対策を立てていかねばならないと考えている。</p>	

分類	委員名	御意見・御提案内容	回答
不法投棄対策への御提案	馬場 茂和 委員	不法投棄防止カメラの効果についての詳細や事例等がわかればありがたいと思う。 効果があまり見られない場所は見直す等の検討も必要になってくるのでは。	本市では不法投棄の抑止という観点から、市内の不法投棄多発地域に8基のカメラを設置しており、設置場所においては設置以前に比べて不法投棄は激減しています。 不法投棄防止カメラにつきましては、地域からの御要望により設置を行っておりますので、不法投棄が多発しお困りとの御相談があれば、カメラの設置について個別に検討してまいります。
	安藤 允巳 委員	警察として、不法投棄事案は犯人の特定が難しく、名義がわかるものがあったとしても夜逃げ等でその後の所在がわからないことや、外国人ですでに日本国外に出ているケースが多い。 また、ごみの処分についても、管理者に処分を依頼しなければならず、金銭面でも多大な負担をかける事案である。 犯人が判明した場合も、否認された場合も、防犯カメラ等の裏付けが必要であるため、農道などに対して防犯カメラの設置を検討してほしい。	
	長妻 勝 委員	消火器や引っ越しの時に出るごみ等の処分がわからずに不法投棄をしてしまう方もいるのでは。 柏市のホームページで処分の仕方を検索できるが、その機能を知らない方も多いため、周知や宣伝が必要だと思う。	
	山崎 明久 委員	不法投棄の実例を挙げ、どの様な刑罰（罰金、懲役）がなされたかを広報誌などに載せて不法投棄の再発抑止につなげれば良いのではないかと。	

分類	委員名	御意見・御提案内容	回答
不法投棄対策への御提案 個人の意識向上について	八巻 悦子 委員	<p>以前、私の住む班内で、道路わきの竹やぶの斜面に不法投棄がよくされており、班長をしていた際に増尾にある清掃事務所に相談に行ったことがあった。</p> <p>①雑草が生い茂っていると不法投棄されやすいので、除草をこまめにする（連絡すれば市がしてくれる）</p> <p>②不法投棄があったら、速やかに回収してもらうように連絡する</p> <p>という2つの提案をされた。この対策だけでもかなり効果があった。</p> <p>このことから、不法投棄されにくい環境づくりが大切だとわかる。そのためには住民の意識に加え、除草や街灯の設置も効果が期待される。繰り返される場合にはパトロールを強化し、啓発看板の設置も必要だと思う。</p> <p>不法投棄がされた場合に市民が取るべき行動や、市ができることを広報やカレンダーでPRするとよいと思う。</p>	<p>御指摘の通り、不法投棄防止のためには捨てにくい環境づくりが大切であると認識しております。</p> <p>特に①について、実際に草木が茂り陰になっているあき地は不法投棄が起りやすい場所です。本市でもあき地の除草作業は土地の所有者や管理者の方に定期的に行っていただくように指導しております。</p> <p>②について、不法投棄をされた土地所有者や管理者は、自身でその投棄ごみを処分することとなっておりますが、不法投棄を発見しお困りの方が、警察や市など、どこの窓口で連絡をしたらよいかわかりやすいよう、周知に努めてまいります。</p>
市以外での取り組み	作田 大 委員	<p>河川での事例になるが、防犯カメラの設置箇所には不法投棄が少ないと感じる。今後は河川においても安価なカメラの設置等の検討を進めていこうと思う。</p>	<p>河川区域内が不法投棄されやすい場所のひとつであることは本市でも認識しております。</p> <p>それぞれ管轄する地域や内容が異なるため、総合的な不法投棄対策に取り組むためにも、今後も関係機関で情報共有を行い、連携してまいります。</p>
	梅田 佳宏 委員	<p>河川区域内は、人目につかないという特性から不法投棄が一向に減少しない状況にある。これまで、看板による注意喚起、簡易カメラによる監視、及び投棄物を発見した場合には張り紙による警告など独自の対策は行っているが、目に見える程の成果は上がっていないのが現状。</p> <p>国として、警察や県・市など関係機関と連携した不法投棄対策に取り組む必要があると考えている。</p>	

分類	委員名	御意見・御提案内容	回答
市以外での取り組み	長原 邦子 委員	<p>大津川をきれいにする会について、現在では3分の2が後期高齢者であり、主力活動者は80代前後である。そのため、川から不法投棄ごみを引き上げることが難しくなってきた。不法投棄は再度捨てられないように見つけるとすぐに片づけているが、「片づけてくれる」という逆効果になっているかもしれない。</p> <p>そこで、小学生が描いたポスターを大津川の橋に市や県の許可を取って設置したところ、その場所が捨てにくいのか、効果が大いにあった。</p> <p>さらに、そのポスターの下に不法投棄ごみの写真を撮って掲示する案を考えている。(別紙写真のとおり)</p> <p>当会の後継者がおらず終わってしまった時でもきれいな川を存続させるために、今から捨てさせない工夫が必要であると考えている。</p>	<p>貴会での工夫が不法投棄の減少につながったという情報は大変参考になります。</p> <p>本市でも、現状の美化にとどまらず、未来の環境のためにできることを模索して対策に努めてまいります。</p>
コロナ禍の影響	染谷 直孝 委員	<p>引き続きのコロナ禍で啓発活動を行えず、コロナ禍の影響による不法投棄の増加などよくない傾向が見られるのが現実。実際、改良区でも不法投棄を発見し関係市等に連絡したケースが増えたように思う。改良区だから発見できる地区の不法投棄については、これまで通り対応していきたい。</p> <p>今後はコロナ禍の収束後、安全になった状態でごみゼロ運動等の啓発活動を再開し個人の意識改革を行っていくことが、5年・10年先の不法投棄削減につながるのではないかと考えています。</p>	<p>目の届きにくい場所での不法投棄発見について、関係機関の皆様の御協力が不可欠であると考えます。今後も情報を共有し連携して対応してまいります。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大は現在落ち着きを見せ始めていますが、次の波を起こさないためにも引き続き感染対策を徹底し、ごみゼロ運動等の啓発活動については、時代に即した実施方法を模索しながら再開したいと考えております。</p>
	桑原 末子 委員	<p>家庭での段ボールごみ・粗大ごみ増はコロナ禍での影響だとわかる。ごみカレンダーで案内されている、集積所に出せるごみは自分で責任をもって捨ててほしいものだ。</p>	<p>コロナ禍でごみ量が増加しておりますが、本市でもごみ出しカレンダーやごみ分別早見表を充実させ、違反ごみや不法投棄削減に努めてまいります。</p>

分類	委員名	御意見・御提案内容	回答
不法投棄ごみの処分について	瀬尾 翔太 委員	<p>利根土地改良区は柏市・我孫子市にまたがる田中調整池（遊水地）を管理する事務所だが、毎年度々不法投棄がある。その中で、我孫子地区内に投棄されたごみについてはクリーンセンターに搬入後減免を受け処理してもらっているのに対し、柏地区内の不法投棄については当改良区が回収し費用も負担することがある。</p> <p>いくら改良区の私有地・管理地だとしても、当地区内は公共性が高い場所であるため、行政の方で負担してほしい。</p>	<p>当市では、廃棄物処理清掃条例の26条2項に基づき減免が必要であると認められる場合に行っておりますので、個別に御相談いただき、担当部署で判断させていただきます。</p>